

保護者様各位

令和5年12月4日

【インフルエンザ罹患の発生に伴う登園自粛のお願い】

日頃より、sukasuka-nurseryの保育にご理解、ご協力頂きありがとうございます。

週末より、インフルエンザを含む体調不良の報告が増えています。

また、職員のインフルエンザ感染も確認されていることから

12月5日(火)～12月9日(土)までの5日間、登園自粛とします。

○お子様の体調に留意し、発熱や風邪症状がある方も、自粛のご協力をお願いします。

○発熱で園をお休みした際には、解熱後24時間はご自宅にて療養をお願い致します。

○感染が確認された場合は、ご連絡をお願いいたします。

sukasuka-nursery046-890-0380まで

早期の対応をとることにより、感染拡大を出来る限り抑制するための措置ですので、保護者の皆様にはその意義と重要性をご理解の上、ご協力頂きますようお願いいたします。

なお、今後、感染症の罹患者が増えた場合、安心安全な保育の提供が難しい場合は、休園となる可能性もございます。

ご迷惑をおかけして申し訳ありませんが、ご協力をお願い致します。

sukasuka-nursery 園長 岡田綾子

046-890-0380

sukasukanursery@yahoo.co.jp

厚生労働省は、乳幼児期の特性を踏まえた保育所における感染症対策の基本を示すものとして、「保育所における感染症対策ガイドライン」2018年に発表しています。

■ 症状および特徴

突然の高熱が出現し、3～4日続きます。倦怠感、食欲不振、関節痛、筋肉痛等の全身症状や、咽頭痛、鼻汁、咳等の気道症状を伴います。通常、1週間程度で回復しますが、気管支炎、肺炎、中耳炎、熱性けいれん、急性脳症等の合併症が起こることもあります。

■ 感染経路

主な感染経路は飛沫感染ですが、接触感染することもあります。

■ 感染拡大防止のために留意すべきこと

大人の場合には、インフルエンザの流行期に入る前にワクチンを1回接種しておくことで、発病の予防や発病後の重症化予防に一定の効果があります。13歳未満の子どもの場合には、ワクチンを1回接種するよりも2回接種する方が、抗体価の上昇が高くなります。このため、流行期に入る前に2週間から4週間(可能な場合には4週間)の間隔をあけて、2回接種を受けることが重要です。

飛沫感染対策として、咳、くしゃみ等の症状があり、マスクを着用できる年齢の子どもには、マスク着用などの咳エチケットを実施するよう促します。また、接触感染対策として、流行期間中は手洗い等の手指の衛生管理を励行することが大切です。感染者の唾液、痰、鼻汁等が付着した場合には、手洗いの後、消毒用エタノール等で消毒しましょう。

■ 登園の目安

登園の目安は、「発症した後5日経過し、かつ解熱した後3日経過していること(乳幼児の場合)」です

「解熱した後3日を経過するまで」の場合、例えば、解熱を確認した日が月曜日であった場合には、その日は期間には算定せず、火曜日(1日目)、水曜日(2日目)及び木曜日(3日目)の3日間を休み、金曜日から登園許可ということになります。

インフルエンザにおいて「発症した後5日」という時の「発症」とは、一般的には「発熱」のことを指します。日数の数え方は上記と同様に、発症した日(発熱が始まった日)は含まず、その翌日から1日目と数えます。「発熱」がないにも関わらず、インフルエンザと診断された場合は、インフルエンザにみられるような何らかの症状がみられた日を「発症」した日と考えて判断します。